

学習や生活に関する改善プラン

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です。

本校は、全国学力・学習状況調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。
なお、さらに詳細な結果について、調査対象の学年に配付することとしています。

【全国学力・学習状況調査結果の概要】

成果

全ての設問で、正答率が全国平均を上回った。特に国語の「思ったことを書く」問題や、数学の「説明する」問題は、全国平均と比較して、顕著に高かった。

意識の調査では、「人が困っているときは、進んで助けていますか」や「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」で「当てはまる」を選んだ生徒が多かった。学習面だけではなく、「心がけ」の面でも、意識を高くもつように育てている生徒が多いと考えられる。

学習に対する意識でも、おおむね全国平均を上回る結果となっている。

課題と対応

「将来の夢や目標を持っていますか」、「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか」で当てはまると答えた生徒は、全国平均を下回った。自分のことに関して考えを深める活動が十分でなかった可能性がある。しかし「自分には、よいところがあると思いますか」という質問には、「当てはまる」と答えた生徒が多かったので、自分の良いところと照らし合わせながら、自分に合った将来を考えていくなどの活動に取り組んでいこうと考えている。

どの質問にも共通であるが、全国平均より良い傾向にある項目においても、否定的な回答をした生徒もいるので、そのような生徒が積極的に参加できるよう活動を工夫していきたい。

【保護者・学区の方へのお願い】

「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」という質問に対する回答は、全国平均とほぼ同じですが、「あまり守っていない」、「守っていない」、「約束がない」を合わせると約25%になります。携帯電話・スマートフォンやコンピュータに関しては、特に興味をもっている生徒が多いものです。きちんと約束事を作って、それを守るようにご家庭でもご指導いただけたらと思います。

「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の回答がとても低いので、コロナが落ち着き中学生が参加できる地域の行事を再開された際には、中学生に声をかけていただけたらと思います。

令和3年度学習や生活に関する改善プラン（岡山市学力アセス）

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です

本校は、岡山市学力アセスの調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

【岡山市学力アセスの調査結果から】

成果

	教科・質問紙	成果
第1学年	国語	標準スコア、正答率ともに高く、特に思考・判断・表現の正答率が80%を超えていた。
	社会	日本の政治や地形、気候の分野では8割近い正答率であることから、日本の地域的特色についての基本的な知識を身に付けることができている。
	数学	数と計算については正答率が8割を超え、知識・技能の観点の技能が十分に身に付いている。
	理科	小学校で学習する基本的な内容は身に付いている。
	英語	正答率が非常に高く、簡単な表現を聞き取り、内容に合ったイラストを選択できている。
	学習状況	学習に関する意欲が高く、読書に関心がある生徒も非常に多い。
第2学年	国語	話す・聞く能力、書く能力、読む能力が十分身に付いている。
	社会	資料活用の技能が身に付き、社会的事象について理解している。
	数学	数学的な技能が身に付き、数量や図形などについて十分理解している。
	理科	科学的な思考・表現ができ、自然事象についての知識が身に付いている。
	英語	外国語理解の能力が身に付き、言語や文化について理解している。
	学習状況	自己肯定感があり、授業の内容がよく分かると感じている生徒の割合が高い。

課題とその対応

	教科・質問紙	課題	対応
第1学年	国語	同音異義の漢字を書くことや慣用句の意味を理解することに課題がある。	<p>国語では、漢字や慣用句の問題に繰り返し取り組ませることで理解力を高めたい。</p> <p>数学では百分率への変換や比を利用して考える場面を増やし、理解を深めさせたい。</p> <p>社会では、授業の中で複数の資料を使って考える時間を増やすことで理解を深めたい。</p> <p>理科では、実験活動を増やし器具の操作を自ら体験する授業計画を立てる場面を設定する。</p> <p>英語では、位置を表す表現はイラストを用いながらイメージをもたせながら理解させたい。類似した音の単語を聞き比べたり、フォニックスを使って発音の違いを練習する。</p> <p>全体の傾向から学習に対する意欲が高いことが読み取れる。塾や習い事等で就寝時間が遅くなることもあるので、生活リズムの整え方についても意識させたい。</p>
	社会	産業や食糧生産など、グラフや資料から読み取って答える問題に課題がある。	
	数学	百分率や比に関する意味理解と問題解決の場での利用にやや課題がある。	
	理科	実験器具の操作に関する問題と思考力・応用力を問われる問題に課題がある。	
	英語	月や位置を表す表現やアルファベットの音の識別にやや課題がある。	
	学習状況	毎日同じくらいの時間に就寝している割合が低い。	
第2学年	国語	伝統的な言語文化の理解に、やや課題がある。	<p>全ての教科において、正答率が高い。しかし、正答率の伸びない生徒が少なからずいることを受け止めねばならない。それらの生徒への対策として、感染防止に努めながら今後も早朝・放課後学習会等を実施していきたい。正答率の高い生徒に対しても、教科書通りの正解を追求する学びだけでなく、より良い答えを見つけ出そうとする態度を育成し、質の高い学力を身に付けさせたい。授業におけるChromebookの活用も、さらに増やしていきたい。</p> <p>学習状況については、自分で計画を立てて勉強し、主体的に予習・復習に取り組む生徒の割合が多い。よい学習習慣が身に付いた生徒を増やしたい。</p>
	社会	記述形式の問題を解答することに、課題がある。	
	数学	記述形式の問題を解答することに、やや課題がある。	
	理科	エネルギーに関わる事象の理解に、課題がある。	
	英語	記述形式の問題を解答することに、やや課題がある。	
	学習状況	授業で学習した内容を、より詳しく調べたいと考える生徒の割合がやや低い。	

【保護者・学区の方へのお願い】

本校の生徒は、ゲームやインターネット(勉強を除く)に費やす時間が少なく、家庭学習に当てる時間が長い傾向にあります。平日2時間以上ゲームやインターネットをしている生徒も3割以上います。家庭におけるゲームやインターネット利用のルールを見直していただき、家庭学習の質と量をさらに充実させることが望まれます。また、記述形式問題の解答に必要な読解力は、読書をしたり新聞を読んだりすることによっても向上します。本や新聞記事の内容を話題にして家庭や地域で対話を密にさせていただくことにより、より質の高い学力が身に付くと期待しています。